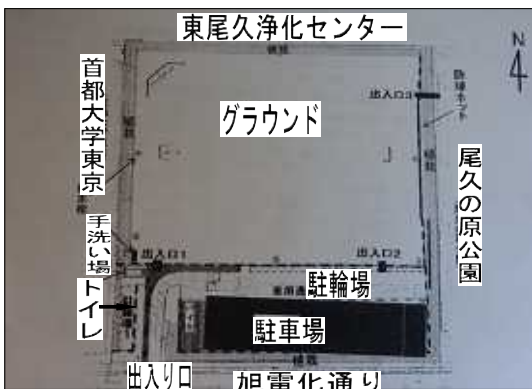


# 尾久の原公園・東尾久運動場(多目的広場)はどうなっているの!?



(1/15現在の東尾久運動場)

9月にリニューアルスタート  
2016年2月、東京都が基盤整備を行い、都と荒川区で賃貸契約を結んだ後、区が運動場整備にかかる工事を行うことで基本協定を結びました。  
現在、都が基盤整備工事を行っており、今年3月に完了する予定になっています。区は、その後運動場整備工事を行い7月までに完了させる予定にしています。  
新たな運動場の利用開始を今年9月に見込んでいます。



**整備内容**  
未利用地だった北側部分を整備(競技スペースは約5,300㎡増)し、駐車場を整えるとともにトイレ・手洗い場等を新設します。

運動場面積 約12,100㎡  
南北方向 約 97m  
東西方向 約126m

運動場(野球・サッカー等)  
サッカー(一般)は公式サイズで1面整備可  
サッカー(少年)は2面整備可

駐車場等(新)  
・車: 50台程度 ・自転車: 200台程度  
・バイク: 10台程度

トイレ(新)  
・男子用(小1、大1)  
・女子用(2)  
・誰でもトイレ(1)

手洗い・足洗い場(新)  
料金など検討中。駐車場も・・・

現状より値上げか!? 利用は昼間のみの予定。  
ご意見、ご要望をお寄せください。

**東尾久運動場の歴史的な経過**  
1980年(昭55)、東尾久7丁目・旭電化工業(株)は、水銀使用工場で公害問題から工場を撤去、移転しました。東京都は、跡地を取得し下水処理施設と清掃工場建設を計画。しかし、周辺町会や区民から二つの下水処理場反対の声も出て、跡地利用計画の都・区協議が続きました。1982年(昭57)に最終合意(下水処理は浄水された高度処理水に限定、覆蓋部の半分は公園整備、公的住宅と教育文化施設建設も都が約束)し、その翌年に土壤汚染対策を行い14.8%を約179億円で都は正式買収しました。その後、教育文化施設も浄化センター上の覆蓋部公園もこれからという中でダイオキシン汚染も発見され、樹木や電柱も抜けないとして封じ込め工事を実施。教育文化施設建設は事実上棚上げのまま。暫定措置として多目的グラウンドとして無償で利用していましたが、今回から東京都に賃料を払って多目的グラウンドとして運用されていきます。

尾久の原公園  
N4  
グラウンド  
手洗い場  
トイレ  
駐輪場  
駐車場  
旭電化通り  
出入口

工事の概算費用は、(荒川区負担分)  
約1億5千万円  
その内、都の補助金の見込みは、  
約4100万円



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています  
日本共産党荒川区議団  
**小林行男**  
ご意見をお寄せください  
区政ニュース

NO.670  
2018.1.21  
区議会控室  
TEL 3802-4627  
FAX 3806-9246  
Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp  
ホームページ  
http://www.tcn-catv.ne.jp/jcpara/  
東尾久相談室  
東尾久2-37-3  
TEL・FAX  
3895-0508

**日本共産党・第26回区民アンケートにご協力を!**  
「区民の声で区政を動かす」立場で毎年行っている区民アンケートです。あなたのお宅に配布しています。ぜひ、ご意見ご要望などお寄せください。

**法律相談会**  
毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。  
また、暮らし・区政などのご相談はいつでもお気軽に  
**2月の相談会は、2月20日(火)**  
尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

# (仮称) 東尾久3丁目付近ふれあい館の敷地調査！



(敷地調査の様子 (1/15))

東尾久にだけなかつた念願の「ふれあい館」がより現実のものになってきました。  
 建設に最低必要な土地の確保のメドが立ったことよって、今回敷地調査(1/15から2/16までの予定)が実施されます。  
 (調査内容)  
 敷地測量  
 地盤調査(ボーリング調査)  
 建築物その他調査(排水・工作物・立木・電気・機械測量調査)  
 今後の予定  
 建築物の除去、基本設計、実施設計などをへて建築へと進みます。  
 「ふれあい館」完成、オープンには、それでもあと、3年以上かかるといわれています。

荒川区では、乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代の区民が交流し、自主的な活動ができる地域コミュニティの新たな拠点として【ふれあい館】を設置してきました。計画では20館を目標として現在までに13館設置されてきました。  
 【ふれあい館】はサロンスペースや多目的室、創作室、会議室など様々な機能を揃えた施設となっています。個人でもまたサークル活動や小規模の会合、ボランティア活動の拠点など、地域のみなさんの交流の場として設置しているものです。

設計などに充分、地元のみなさんの声が反映できるようにしていきたいものです。みなさんのご意見、ご要望などお寄せください。

住民のみなさんの憩いの場になるように



「赤旗」で見出しに「きら星」を使ったところ、読者から「きら、星のごとく」が本来の言葉なので、わざわざ見出しに使うのはどうか、という指摘がありました。きら星の「きら」は「きらきら輝く星」という擬態語の「きら」ではありません。漢字では「綺羅」と書きます。「綺」は「あやぎぬ」、

「赤旗」で見出しに「きら星」を使ったところ、「美しい衣服」を表します。「華やかな服を着た人がたくさんそろっている」とを星にたとえて、「きら星のごとく」といっただけです。ですから「きら星」ではなく、「きら星のごとく」と切るのが本来の使い方です。しかし、かなり古くから誤用してきたよう

## 言葉 きら星

『「赤旗」は、言葉をどう練り上げているか』より

## ノーベル平和賞 I CANと (核兵器廃絶国際キャンペーン) なぜ会わない！？

昨年7月の核兵器禁止条約が国連で採択。そしてノーベル平和賞受賞。来日したI CANのフィン事務局長からの安倍首相との面談要請を日本政府は拒否しています。被爆者のみなさんの長年の運動が評価されたにもかかわらず、唯一の戦争被爆国の首相が歓迎もしない、会うことすら拒否するのが全く理解できません。条約への署名・批准がすみ早期に発効するように「『ヒバクシャ国際署名』を大いに広げ、世論を国内外で上げていきたい」



日本政府は、核兵器禁止条約をめぐる二つの論点として、「条約に参加すると『核抑止力』の正当性が損なわれる」、「北朝鮮の核開発という情勢にこの条約はそぐわない」としています。結局、核兵器にしがみつく態度です。昨年の8月の広島・長崎での被爆者が「あなたは本当にどこの国の首相なのか」批判したことがよみがえります。